

# 地域とともにある学校づくり ～子どものよさを伸ばす地域学校協働活動～

愛知県北名古屋市	●活動名	●関係する学校名
	北名古屋市立師勝北小学校地域学校協働本部	北名古屋市立師勝北小学校

協働活動開始年度	平成 28 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成27年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成			
	—	放課後子供教室				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	2人	地域学校協働活動推進員等の数	3人		
	ボランティアの数	延べ登録人数 109人	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有
参考URL	<a href="http://www.cnt.kitanagoya.ed.jp/shikatsukita-e/">http://www.cnt.kitanagoya.ed.jp/shikatsukita-e/</a>					
●連絡先	北名古屋市立師勝北小学校		☎ 0568-22-7338			



●活動の概要・経緯  
平成25・26年度に「学校運営協議会」設置に向けて2年間の研究指定を受けたことを機に、地域代表、歴代PTA役員、学識経験者、保護者代表とともに目指す子ども像を共有し、地域と学校が一体となって子どもたちの成長を支援できるよう、読み聞かせボランティア(平成15年発足)やスクールガード(平成18年発足)等既存の活動や組織を見直した。27年度には、正式に学校運営協議会の指定を受けた。学校運営協議会では、「地域学校協働本部」が実際に行う支援活動について熟議し、持続可能で、教育効果が高い活動ができるように支援体制を整えた。地域学校協働活動推進員がコーディネーター役を担い中心となって、活動の計画や、学校教育活動との連携を進めている。地域連携担当のコーディネーターを設置したことで、多様な地域人材の活用が可能となった。以来、「学校・保護者・地域」が一体となって活動を進め、地域とともにある学校づくりを推進している。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①学校支援ボランティアの設置  
実習補助や校外学習の付添、安全見守りなどの授業支援活動。図書館整備、学級文庫の選定補助、読み聞かせの実施。
- ②「スクールガード」による児童登下校時の安全指導や行事における校内外安全見回り活動。
- ③自治会や熊之庄協働クラブによる盆踊り、もちつきなどの地域主催の活動や、除草作業等の環境整備活動。
- ④親の会(旧おやじの会)による「夜の学校で遊ぼう」(避難所生活体験)や地域防災ボランティアによる防災マップづくり。
- ⑤放課後子ども教室と児童クラブの連携による多様な学習機会の確保、児童の居場所づくり。

### 【実施に当たっての工夫】

活動を実施するあたり、企画・運営、連絡役を地域学校協働活動推進員が担当することで、教職員の負担軽減になっている。また、学校運営協議会委員・保護者と教員とのつながりを大切に、地域とともにある学校づくりや教員の働き方について話し合う交流会を年2回開催している。ホームページやコミュニティ・スクールだよりを活用して、地域学校協働活動の見える化に努め、地域に回覧することで地域住民への情報提供に努めている。

### 【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会では、自治会、熊之庄協働クラブ、防災ボランティア、児童館等、各団体の代表者が学校のためにできることを積極的にアイデアを出し、有意義な活動になるように努めている。また、学校運営協議会が核となることで、各団体同士のつながりも強くなっている。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

校外学習の引率補助や、学習支援ボランティア活動が充実し、児童の安全確保だけでなく学びが深まる一助となった。地域や保護者にも、児童の学習の成果を積極的に認めてもらうことで、児童の学習意欲の向上につながっている。  
学校運営協議会委員・保護者と教員との交流会を定期的に行うことにより、それぞれの立場で本音で話し合うことができるようになった。  
様々な活動を通して、地域住民と学校との連携強化が図られ、地域全体で児童を育てようとする意識が高まった。また、児童も地域の行事に参加する機会が多くなり、自身の地域に愛着がさらにもてるようになった。

## ●その他

熊之庄協働クラブが中心となって企画する活動が、児童が主体的に地域の行事等に進んで参画し、地域の一員として役割を果たすことに寄与している。



学校運営協議会委員・保護者・教員との意見交流会



「夜の学校で遊ぼう」の一晩泊